

## おもな登場人物

**ルイス・アルヴァレス** アメリカの物理学者。一九六八年、ノーベル物理学賞を受賞。息子ウォルターらと「天体衝突による大量絶滅説」を提唱。

**ウォルター・アルヴァレス** アメリカの地質学者。天体衝突理論の中心人物。異分野の専門家である父ルイスを研究グループに引き入れた。

**ヤン・スミット** オランダの古生物学者。地層中の微化石の記録から突発的な大量絶滅を確信し、アルヴァレス親子の天体衝突説を一貫して支持。

**ピーター・ウォード** アメリカの古生物学者。アンモナイトの化石記録を詳細に調べ、漸進的絶滅説から突発的絶滅説へと意見を変えた。

**レオ・ヒッキー** アメリカの古生物学者。当初は天体衝突説を批判していたが、陸上植物が突発的に絶滅した証拠を見だし、支持派に転じる。

**ウィリアム・クレメンス** アメリカの古生物学者。漸進的絶滅説を主張し、ルイスらと激しく対立。

**デューイ・マクリン** アメリカの地質学者。二酸化炭素による温暖化が大量絶滅の原因として衝突説を受け入れず、ルイスらに追い込まれていく。

**ゲルタ・ケラー** アメリカの古生物学者。三〇年以上、「天体衝突による大量絶滅説」に反対し続ける勢力の中心人物。

**ヴォルフガング・ステイネスベック** ドイツの古生物学者。ケラーとともにアルヴァレス陣営と対立。

**ヴァンサン・クルティヨ** フランスの地球物理学者。インドのデカン火山活動が大量絶滅の原因と考え、天体衝突説を否定。

**ラマチャンドラン・ガナパシー** アメリカの隕石研究者。K/Pg境界の白金族元素が地球外天体起源をもつことを、衝突クレーター発見前に証明。

**ウエンディ・ウォルバック** アメリカの地球化学者。K/Pg境界から大量の煤を見だし、大規模な火災が起きた証拠だと主張。

**グレン・ペンフィールド** アメリカの地球物理学者。メキシコ・ユカタン半島に巨大な円形構造を発見し、クレーターであると最初に報告した。

**アラン・ヒルデブランド** カナダの地質学者。チチュルブ・クレーターを「再発見」し、K/Pg境界の天体衝突の痕跡であることを証明。

目  
次

SAMPLE

## 第1章

### 痕跡

モンタナ州ミズーラ——二〇一〇年八月／ヘルクリーク／地層のつくりかた／  
洪水と川の氾濫／氾濫原の恐竜たち／化石ハンターとティラノサウルス／過去  
の生態系を復元する／恐竜が消えた「空白の期間」

21

## 第2章

### 空白

スマイア海岸のアンモナイト／見えない化石／突然の消失／シンクロニシティ  
／マクリーンの温暖化説／現在は過去を知る鍵、過去は未来を知る鍵

45

## 第3章

### 怪物

マクリーンの回顧録／ウォルター・アルヴァレスとグッピオ／地質学者の資質  
／ウォルターのアブダクション／謎解きパズルのピース／自然は飛躍する？／  
もう一人のアルヴァレス／ルイスの転機

59

## 第4章

### 事件

宇宙からの使者／イリジウムの起源／プルトニウムの落とし穴／天体衝突仮説の誕生／仮説から確信へ／ある疑問

79

## 第5章

### 猜疑

異端の論文／n-1個の誤り／真の手柄／白金族元素の証拠／たった二つの問題／拒絶と批判／前提を揺るがす報告／古生物学者は認めない

97

## 第6章

### 謀略

オタワ——一九八一年五月／KITEC2会議／腹案の火山噴火説／不毛な論戦／マクリーンの挑発／我慢の限界／地球上でもっとも孤立した科学者／ジヤスト・ソー・ストーリーズ／持ち込まれた悪意

119

## 第7章

### 容疑

恐竜は少しずつ絶滅？／嫌疑不十分／塵と闇／深まる疑惑／容疑者Aと容疑者B／二人のエリート捜査官／誤認／激しくなる絶滅論争／ルイスの死

139

## 第8章 時刻

フオートベック湖畔——二〇一〇年八月／放散虫化石／転機／謎の黒色粒子／日本の「天体衝突」／オスミウム／犯行時刻の推定

165

## 第9章 偽装

火種／ケラーの数奇な経歴／ハイエタスと絶滅／参戦／ブライインド・テスト／シニョール＝リップス効果／明かされたトリック

183

## 第10章 証拠

向けられた銃口／最初の離脱者／植物の絶滅／恐竜発掘プログラム／ストレンジラブ・オーシャン／火災の煤と寒冷化／津波の痕跡／カリブ海の円形構造

197

## 第11章 衝突

見ているようで見ていない／場外の出来事／見逃された報告／進まない孤独な調査／再発見／僅差で敗れた男／先取権は誰のものか／公表か死か／チチュルブ後の世界／硫酸エアロゾルと酸性雨／犯人捜しは終わったか？

213

## 第12章

# 決戦

最後の問題／挑戦状／ミンプラルの決闘／立会人の判定／段階的絶滅説の反撃  
／波状攻撃／定説を覆す研究／躍進する火山説／メディア戦略／もう放つては  
おけない／勝利宣言／反チチュルブ連合／長い論争の果てに

235

## 第13章

# 検証

生きた放散虫／仮説と理論／再検証／反転／さらなる疑問／リビング・オーシ  
ヤン／生食連鎖／理論の改定／選ばれた被害者／めぐる理論／陸上の絶滅／恐  
竜の親から子へ

259

## エピソード

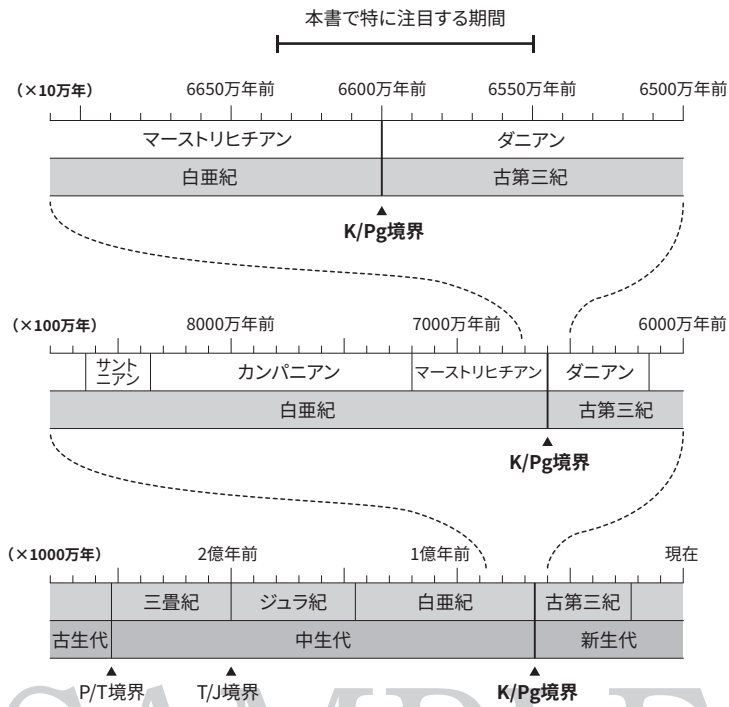
あとがき／謝辞

図版出典一覧／注

\*本書に登場する人物の所属や肩書きは、話題にしている当時のものです。

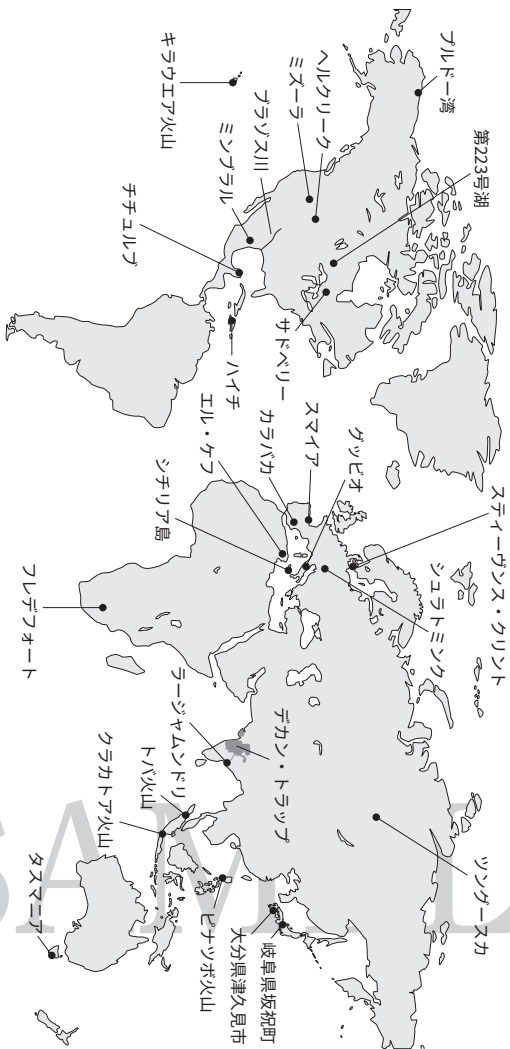
\*引用文中の「」は筆者による補足です。

本書に関連する地質年代



恐竜の時代

SAMPLE



本書に登場するおもな場所